

- 動画作成中です。 とりあえず文字のみによる観察データです。

● 10/26 朝方までの環境経緯

【10/19】

- サザエ(3個体)を貰い受け
- 飼育容器に取敢えずバケツで代用〔海水注入量：約5L〕

【10/22】

- 正規の水槽を整備：海水約12L注入
- サザエが好むとされる 芽かぶ¹ 未入手のため 乾燥わかめと乾燥(根)昆布を飼餌
- 海水の入替は 約6Lを 今のところ毎朝
- 潜み場所として レンガ を設置

【10/25】

- スポット照明を設置

● 観察にあたって

- 個体の認識番号として 殻にフジツボの多い順に(#1)~(#3)としました。
初日 バケツの上縁に静止していたのは(#1)です。
(#3)にはフジツボはほとんど付着していません。
- 経過日数が僅少であるため 現時点での形態の類型化は時期尚早であると判断しています。
- (根)昆布は摂取していない様子です。

- 行動の大まかな様子〔気付き〕を下掲します。

【10/22】 (#1) : レンガの裏側〔観察視点の反対側〕で静止
 (#2) : カメの甲羅干し用フロートの下で静止
 (#3) : レンガの裏側〔観察視点の反対側〕で静止

【10/23】 (#1) ~ (#3) : 前日に同様

【10/24】 (#1) : 水中ではあるが視認観察できる場所に位置
 (#2) : カメの甲羅干し用フロートの下で静止
 (#3) : レンガの裏側〔観察視点の反対側〕で静止

【10/25】 (#1) : 水中ではあるが視認観察できる場所に位置
 (#2) : 水中ではあるが視認観察できる場所に位置
 (#3) : 吻部を大気中にして静止

【10/26】 (#1) : 体躯上半分を大気中に置いて静止 ; ◎
 (#2) : 水中ではあるが視認観察できる場所に位置
 (#3) : 吻部を大気中にして静止 ; ◎ ○

◎：室内が明るい場合のスポット照明に影を差したときには 完全に水中でない場合
 瞬時に僅かながら殻の中に引っ込む 〔なお スポット照明と個体との角度の相違

により同照明を点灯したときの各個体の反応は異なる]

○：海水を空中に噴出

※ 夜間によく行動するといわれていますが 日昇時と日没時との比較観察は今後の課題です。